

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、あやは、お母さんにたのまれて、ひとりでパンをかいに行くことになりました。

この日は、はじめてのおつかいだだったので、「だいたいようぶかな」と思うと、むねがすこしどきどきしました。

家のちかくの商店街までですが、ひとりで行くのははじめてです。

くつをはいて玄関を出ると、外の音がいつもより大きく聞こえ、それがなんだかこわくかんじました。

お店の前まで来ると、人がたくさんいて、こえも大きく、あやはすこしこわくなりました。

ドアの前で立ちどまってしまい、「やっぱりもどろうかな」と思いました。

でも、かばんの中のメモを見て、「このメモに書いてあるパンをかうんだ」とじぶんにいきかせました。

「それをえらべばいいのかな」と思いながら、深呼吸をしました。

えいっとドアをあけて入ると、パンのいいにおいがしてきました。

店の人が「いらっしやい」とえがおでいってくれたので、あやはそれをきいて、すこしほっとしました。

たなにならんだパンを見て、「あのパンでいいかな」とまよいながら、もう一どメモをたしかめました。

「これをください」といえたとき、むねのどきどきはさつきよりちいさくなりました。



(1) あやは、なぜひとりでパンをかいに行くことになりましたか。文の中からさがして書きましょう。



(2) 文中にある「——」の「それ」は、何をさしていますか。文の中からこたえをさがして書きましょう。



(3) お店の前で立ちどまってしまったときのあやの気もちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① はやくかえりたいと思ううれしい気もち
- ② こわくてどうしようかまよっている気もち
- ③ もうかいものはできたとと思う気もち
- ④ とてもねむいと思う気もち

1 つぎのお話をよんで、もんだいにこたえましょう。

ある日、あやは、お母さんにたのまれて、ひとりでパンをかいに行くことになりました。

この日は、はじめてのおつかいだだったので、「だいたいようぶかな」と思うと、むねがすこしどきどきしました。

家のちかくの商店街までですが、ひとりで行くのははじめてです。

くつをはいて玄関を出ると、外の音がいつもより大きく聞こえ、それがなんだかこわくかんじました。

お店の前まで来ると、人がたくさんいて、こえも大きく、あやはすこしこわくなりました。

ドアの前で立ちどまってしまい、「やっぱりもどろうかな」と思いました。

でも、かばんの中のメモを見て、「このメモに書いてあるパンをかうんだ」とじぶんにいきかせました。

「それをえらべばいいのかな」と思いながら、深呼吸をしました。

えいとドアをあけて入ると、パンのいいにおいがしてきました。

店の人が「いらっしやい」とえがおでいってくれたので、あやはそれをきいて、すこしほっとしました。

たなにならんだパンを見て、「あのパンでいいかな」とまよいながら、もう一どメモをたしかめました。

「これをください」といえたとき、むねのどきどきはさっきよりちいさくなりました。



(1) あやは、なぜひとりでパンをかいに行くことになりましたか。文の中からさがして書きましょう。

解答例) お母さんにたのまれたから。

(2) 文中にある「それ」は、何をさしていますか。文の中からこたえをさがして書きましょう。

解答例) 店の人が「いらっしやい」といってくれたこと。

(3) お店の前で立ちどまってしまったときのあやの気もちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① はやくかえりたいと思ううれしい気もち
- ② こわくてどうしようかまよっている気もち
- ③ もうかいものはできたと思う気もち
- ④ とてもねむいと思う気もち